エアポート・サービス科（1年次）教育課程

2024（R6）年度用

エアポート・サービス科キャビンアテンダント・グランドスタッフコース（1年次）教育課程（履修規程第2条別表）

区分	科目	単位数	授業時数	通年科目	半期科目		集中講義科目	定期試験の受験資格		必要修得時数
					前期	後期		講義科目	実験又は実習科目	
一般科目	人間学Ⅰ	2	30	○				○		授業を履修し、試験に合格した科目（修得科目）の授業時数の合計が960時数以上であること
	接遇・ホスピタリティ概論Ⅰ	4	60	○				○		
	ＳＰＩ対策－1	2	30		○			○		
	ＳＰＩ対策－2	2	30			○		○		
	キャリアプランニング	2	30			○		○		
	ＴＯＥＩＣⅠ	4	60	○				○		
	英会話Ⅰ	12	180	○				○		
	中国語Ⅰ	2	30		○			○		
	日本語（選択）	(12)	(180)				○	○		
専門科目	空港サービス入門	2	30				○	○		
	インターンシップ教育（基礎）	4	180				○		○	
	空港業務知識Ⅰ	2	30		○			○		
	エアポートサービスⅠ	4	60	○				○		
	接遇・ホスピタリティⅠ－CA	2	30			○		○		
	接遇・ホスピタリティⅠ－GS	2	30			○		○		
	サービス介助	2	30		○			○		
選択	インターンシップ教育（応用）	(4)	(180)				○		○	
	キャビンアテンダント・グランドスタッフ接遇力（応	(12)	(180)				○	○		
計		52（60）	1020							960以上

2024 シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次　通年
授業科目名	人間学Ⅰ			担当教員名	A科常勤教員・就職キャリア支援センター・学生支援課 （1～5,9～13,15回）（6～8回）（14回）		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	学生一人一人が教育理念を理解し、目標に向かって大切な時間を過ごしていくために心掛けて欲しい事項、および自分のキャリアデザインを実現するために必要な自己分析や企業研究等の方法、考え方等を講義、グループディスカッション、講演会、奉仕活動などを通して学ぶ。						
到達目標 （150文字程度）	本校の教育理念「技術者たる前に良き人間たれ」を十分理解し、規則正しい生活習慣を身につけ、ルールを遵守する。 自分のキャリアデザインを描く。自分の強みを発見し、発信することができる。 仕事の価値観をつかみキャリアデザインの実現に生かす。						

評価方法	定期試験		その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	課題レポート	取り組み姿勢	
			80%	20%	

教員実務経験	―
学生へのメッセージ （150文字程度）	人間学を通じ、自分の夢を実現させ幸せになるためには具体的にどのようにすれば良いのか考えて行動する習慣を身に付けてください。また、自分のキャリアデザインを実現するために自分と会社についてよく知り、自分にとって的確な会社選びができるよう積極的に取り組んでください。

教科書	書名	人間学	書名	
	書名	社会人基礎力講座	書名	
参考書	書名		書名	
	書名		書名	

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）※実施時期は適宜設定

回=90分	項目	内容
1	教育理念	(1)教育理念、ディプロマ・ポリシー(2)学園・学校の歩み
2		
3	勉学開始に当たり	(1)キャリア・デザインとキャリア形成(2)基礎学力と生活習慣(3)英語の必要性(4)学内ルールの遵守(5)犯してはならないこと、注意したいこと
4	人間性と人生	(1)人生の出発点、(2)自己実現の欲求、(3)コミュニケーションによって開く未来
5		
6※	キャリアデザイン	ガイダンス1
7※		ガイダンス2
8※		ガイダンス3
9		(1)就職活動を成功させるために (2)自己分析 (3)職種・業界研究 (4)履歴書・業界研究 (5)企業採用試験
10		
11※	グループディスカッション	グループディスカッション
12※		
13※	講演会など	外部講師等による講演または学科教員による講義
14※	コンプライアンス	コンプライアンス
15※	奉仕作業	清掃活動など

2024　シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　　一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科　　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次　　通年
授業科目名	接遇・ホスピタリティ概論Ⅰ			担当教員名	田中　希代子		
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	ホスピタリティ業におけるプロフェッショナルを育成するため、ホスピタリティの概念及びサービス業に携わる人材に求められる接客・接遇の基礎を学び、演習を通して実践的な接客・接遇の基礎的技能を定着させる。						
到達目標 （150文字程度）	ホスピタリティ・サービスの本質を歴史や理論から理解し、組織を理解した上で具体的なシチュエーションにおいて体現し、その場合の相応しいアウトプットが積極的に実践できる様にする。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	レポート	授業ワーク			
			70%	30%			
教員実務経験	外資系ホテル及び法人研修コンサルティング会社での実務経験						
学生へのメッセージ （150文字程度）	形式やマニュアルだけにとらわれない、お客様にとって心地良いサービスが提供できるサービスのプロフェッショナルになれる様、多角的に学んで行きましょう。						
教科書	書名	マナー&プロトコールの基礎知識		書名			
	書名	ゼロから教えて接客・接遇		書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容	
1	ホスピタリティセオリー	講義概要、修学目的説明、ホスピタリティとは・自身の社会的スキル尺度を知る	田中
2		マーケティング（サービスとリレーションシップ）・サービスリカバリー	
3		顧客満足と従業員満足	
4		自己のパーソナリティを測る	
5	接遇者の心構え	身だしなみ、表情・笑顔、挨拶、姿勢、立ち居振る舞い、歩き方	
6			
7			
8	接遇者の言葉遣い	敬語、接遇用語、クッション言葉	
9			
10	接遇者の聴き方	傾聴、質問力	
11			
12	接遇者の伝え方	ボイストレーニング、呼吸、滑舌、トーン、スピード	
13			
14	ホスピタリティ英語	お客様に「伝わる」スピーキング	
15		お客様を理解するリスニング	
16	メイクレッスン	プロのメイクアップアーティストからそれぞれの個性に合った接遇者のメイクを学ぶ	外部講師
17			
18	話し方演習	話の組み立て①（PREP法で話す）	田中
19		話の組み立て②（ローコンテクストで話す）	
20		スピーチ作成①（自己PR・自己分析・キャリアビジョン）	
21		スピーチ演習①	
22	面接演習	好印象を与えるコミュニケーションⅡ①面接演習（第一印象づくり　入室～自己紹介）	
23		好印象を与えるコミュニケーションⅡ②面接演習（話し方　自己PR）	
24		好印象を与えるコミュニケーションⅡ③面接演習（言葉遣い　志望動機）	
25		好印象を与えるコミュニケーションⅡ④面接演習（入室～面接～退室）	
26		好印象を与えるコミュニケーションⅡ⑤面接演習（総合演習）	
27		好印象を与えるコミュニケーションⅡ⑥面接演習（総合演習）	
28	就職活動のマナー	身分証明写真	
29		企業説明会について	
30		オンライン面接対策	

2024　シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　　一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科　　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次　前期
授業科目名	SPI対策 － 1			担当教員名	田中　希代子		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	1. 就職試験において広く実施されている能力・適性検査対策として、非言語分野を中心にSPI3演習を実施する。 2. SPI演習を通じて、数的能力を中心に、基礎的能力の向上を図り、各種問題に対処する際の考え方を理解する。						
到達目標 （150文字程度）	現行の就職試験で実施されているSPI3の非言語分野における基礎的なレベルの能力の定着を図る。基礎的なレベルの能力の定着を図り、確実な点数取得につなげることを目標とする。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート					
	100%						
教員実務経験	ー						
学生へのメッセージ （150文字程度）	就職対策としての取り組みにとどまらず、社会人としての一般常識となる基礎能力の向上を図る意識を持って、自主的かつ積極的な取り組みを期待する。						
教科書	書名	文系学生のためのSPI3完全攻略問題集2025年度版		書名	高橋書店		
	書名			書名			
参考書	書名	一般常識＆SPI		書名	あっという間にまるわかり！一般常識		
	書名	あっという間にまるわかり！SPI問題集		書名			

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容
1	SPI対策演習	オリエンテーション（本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明）、四則演算
2		小数、分数の計算
3		方程式
4		割合・比
5		損益算
6		仕事算
7		濃度算
8		速さ
9		
10		場合の数、確率
11		命題
12		集合
13		推論
14		判断推理
15		総合演習問題

2024　シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　　一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科　　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次　　後期
授業科目名	SPI対策 － 2			担当教員名	田中　希代子		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	1. 就職試験において広く実施されている能力・適性検査対策として、言語分野を中心にSPI3演習を実施する。 2. SPI3内容に加え、一般教養・時事問題・国内海外地理の知識を習得する。						
到達目標 （150文字程度）	現行の就職試験で実施されているSPI3の言語分野における基礎的なレベルの能力の定着を図る。また、一般教養・ニュース・地理分野への関心を高め、社会人としての基礎知識習得につなげることを目標とする。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート					
	100%						
教員実務経験	ー						
学生へのメッセージ （150文字程度）	就職対策としての取り組みにとどまらず、社会人としての一般常識となる基礎能力の向上を図る意識を持って、自主的かつ積極的な取り組みを期待する。						
教科書	書名	文系学生のためのSPI3完全攻略問題集2025年度版		書名	高橋書店		
	書名			書名			
参考書	書名	ドリル式一般常識問題集2023年度版		書名			
	書名			書名			

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容
1	SPI対策演習（非言語）	オリエンテーション（本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明）、前期振り返り
2		判断推理
3		資料の読み取り
4		物流
5		ブラックボックス
6		グラフと領域
7	SPI対策演習（言語）	空間把握
8		二語の関係、熟語の成り立ち、語句の用法
9		長文読解、文章の並べ替え
10	一般常識	時事問題・ニュース
11		ことわざ・慣用句・格言・名言
12		社会科学
13		漢字の読み書き
14		国内地理・世界地理
15	まとめ	総合演習問題

2024 シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次 後期
授業科目名	キャリアプランニング			担当教員名	森 久見子		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	就職活動の前提となる全国の航空系企業の研究と志望企業選定に関わる指導、ならびに就職選考試験に求められるエントリーシート・履歴書の作成要領、及び面接対策等に関わる包括的な就職指導を行う。						
到達目標 （150文字程度）	就職活動を円滑かつ着実に進める為、全国の各企業の特性や求められるレベルに応じた自己の改善課題を把握の上、　各自の自主的かつ主体的な取り組みを進めることで、志望企業応募の準備を行うことを目標とする。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
		50%	50%				
教員実務経験	エアラインの空港実務経験						
学生へのメッセージ （150文字程度）	就職は専門学校入学の最大の目的であり、就職選考は人生で最も重要な節目の一つとなることを自覚の上、しっかりとした自らの意志を持って取り組み、就職に向けた着実な準備を行って頂きたい。						
教科書	書名			書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明
2	志望企業の研究	全国航空系企業の研究
3	エントリーシートの準備・作成	エントリーシート①：自己分析
4		エントリーシート②：自己PR
5		エントリーシート③：志望動機
6		エントリーシート④：エントリーシート演習
7		エントリーシートまとめ
8	履歴書の準備・作成	履歴書①
9		履歴書②
10		履歴書まとめ
11	面接対策	面接対策①
12		面接対策②
13		面接対策③
14	フォローアップ	上記各課題のフォローアップ
15	まとめ	本講義の総括

2024 シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次　通年
授業科目名	TOEIC-I			担当教員名	那須　まゆみ		
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	航空業界に就職する際、及び就職後も高得点を求められるTOEICのリスニング・リーディング能力向上を目指す。						
到達目標 （150文字程度）	TOEIC 600点以上						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	小テスト	取り組み姿勢			
	80%		10%	10%			
教員実務経験	大学・企業での各種TOEIC講座担当						
学生へのメッセージ （150文字程度）	卒業するまでに600点を取ることを目標に、「継続は力なり」・・・これを信じてひたすら勉強してください。今こそ、学ぶ時です。						

教科書	書名	世界一わかりやすいTOEICテストの授業	書名	TOEIC TEST英単語 出るとこだけ
	書名	TOEICテスト中学文法で600点	書名	
参考書	書名		書名	
	書名		書名	

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容
1	1. 導入 Part 1	解放テクニック把握
2		基本語彙　数字
3	2. Part 2 基礎1	質問の種類
4	名詞	名詞の働き 形・種類
5	3. Part 3基礎1	会話文
6	代名詞	代名詞の形　種類
7	4. Part 4基礎1	説明文
8	名詞	実践問題
9	5. Part 1基礎2	人物・物　描写
10	代名詞	実践問題
11	6. Part 2基礎2	疑問文
12	Part 5	傾向と対策
13	7. Part 3基礎2	図形問題
14	Part 6	傾向と対策
15	8. Part 4基礎2	図形問題
16	Part 7	Single Passage
17	9. Part 1　応用	人物動作
18	Part 7	Double Passage
19	10. Part 2 応用	依頼・許可
20	Part 7	Triple Passage
21	11. Part 3 応用	会話文の意味
22	会話表現	空港　案内
23	12. Part 4 応用	場面の把握
24	会話表現	TEL　接待
25	会話表現	提案　謝罪
26	13.　総合問題	心得　時間管理
27		語彙
28		読解テクニックと暗記
29		模試問題
30		模試問題

2024 シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　一般科目

学科・コース名	エアポート・サービス科　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次　通年
授業科目名	英会話I			担当教員名	Oribe Bryn		
授業形態	講義	授業時数	180	単位数	12	選択必修区分	必修
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	A variety of reading exercises, consisting of differing topics and situations, to strengthen and inspire student confidence. A variety of written exercises and lecture topics, beginning with elementary grammer, advancing as students progress. Building vocabulary sets, beginning with nouns, verbs and adjectives. Thereafter, moving to set phrases.						
到達目標 （150文字程度）	To increase student reading & listening ability, and language comprehension, to increase their ability to communicate in English. A variety of reading exercises, consisting of differing topics and situations, to strengthen and inspire student confidence. This class includes a Grammar component.						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート					
	100%						
教員実務経験							
学生へのメッセージ （150文字程度）	Developing reading & listening skills is a leap towards mastering English. Grammar is essential to language, and it is not as difficult as you think! English vocabulary is like Lego, once you understand the “blocks” you can make what you wish!						
教科書	書名	オリジナルプリント教材		書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容
1-3	各テーマにつき 以下を実施 （30テーマ×3コマ） 1. 会話の実践と応用 2. 文法解説 3. 語彙習得 進捗に応じて ・小テスト ・英字新聞の読解練習	家と部屋
4-6		職業
7-9		交通機関
10-12		外見（人の形容）
13-15		場所
16-18		映画
19-21		音楽
22-24		カレンダー
25-27		天候
28-30		頻度（回数）
31-33		興味のあること
34-36		道の聞き方
37-39		冬（季節）
40-42		外国人との会話の始め方
43-45		緊急事態対応
46-48		天気の説明
49-51		楽しみ
52-54		週末の出来事
55-57		飛行機旅行
58-60		時間
61-63		電車・地下鉄
64-66		学校
67-69		街
70-72		注文
73-75		外食
76-78		事務所
79-81		お手伝い
82-84		買い物
85-87		近況
88-90		病気

2024 シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース□					開講時期	1年次　前期
授業科目名	中国語Ⅰ			担当教員名	許　賢科		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	この授業では中国語の基礎を学ぶ。正しい中国語の発音を目標とし、ピンイン表記をすべて正しく読め、基礎的な文法や簡単な会話表現を身につけ、将来職場で活用できることを目的とする。						
到達目標 （150文字程度）	中国政府公認「漢語水平試験」（HSK）1級						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
		80%	20%				
教員実務経験	―						
学生へのメッセージ （150文字程度）	一緒に楽しく中国語を勉強しましょう！加油（頑張りましょう）！						
教科書	書名	新基礎からの中国語		書名	朝日出版社		
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容
1	発音入門1	中国語概況、声調、単母音
2	発音入門2	子音
3	発音入門3	二重母音、三重母音、鼻母音
4	発音入門4	軽声、単母音erとr化、声調の変化
5	初級文法1	人称代名詞、名前の尋ね方・言い方、動詞“是”、疑問文①
6	初級文法2	指示詞、疑問文②、助詞“的”①、数詞と量詞
7	初級文法3	名前の尋ね方・言い方、日付の言い方、名詞述語文、動詞述語文
8	初級文法4	助動詞①、時刻の言い方、連動文、疑問文③、模擬テスト
9	初級文法5	“在”と“有”、方位詞、前置詞、形容詞述語文
10	初級文法6	助動詞②、“是…的”、完了の“了”、時間量
11	初級文法7	金銭の表現、助動詞③、“几”と“多少”、疑問文④
12	初級文法8	文末の“了”、“有点儿”と“一点儿”、経験の“过”、動量詞
13	初級文法9	単純方向補語、助動詞④、禁止表現、使役構文
14	初級文法10	二重目的語、様態補語、進行の表し方、動詞の重ね型
15	初級文法11	助詞“的”②、主述述語文、“因为……所以”、結果補語、模擬テスト

別紙様式第1（第4条関係）

2024 シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　一般科目/専門科目

学科・コース名	エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年時　集中
授業科目名	日本語（選択）			担当教員名	中村亜綺		
授業形態	講義	授業時数	180	単位数		選択必修区分	選択
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	日本語能力検定（N2）レベルの語彙・聴解・文法・長文読解の力を養い、各自の日本語基礎能力のボトムアップを図る。加えて、日本のビジネスシーンで必要となる敬語の基礎を学び、就職活動および卒業後の仕事の一助とする。						
到達目標 （150文字程度）	日本企業で働く際に求められる日本語能力検定2級（N2）合格、または同等レベル習得を目標とする						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート					
	80%		取り組み姿勢　20%				
教員実務経験							
学生へのメッセージ （150文字程度）							
教科書	書名	パターン別徹底ドリル 日本語能力試験N2		書名	外国人のための日本語敬語の使い方		
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容
1～2	文字・語彙	漢字の読み
3～4		表記
5		語形成
6～13		文脈規定
14～15		確認テスト・解説
16～18		言い換え類義
19～22		用法
23～24		確認テスト・解説
25～29	文法	文の文法1　文法形式の判断
30～32		文の文法2　文の組み立て
33～35		文章の文法
36～37		確認テスト・解説
38～39	読解	指示代名詞
40～41		理由
42～43		内容一致
44～45		筆者の考え
46～49		情報検索
50～51	聴解	課題理解
52～53		ポイント理解
54～55		概要理解
56～57		即時応答
58～59		統合理解
60～63	模擬テスト	「言語知識・読解・聴解」を2セット
64～65	検定直前対策	模擬テストの結果から弱点の補強
66～69	尊敬語	尊敬語1（特定のことば）
70～71		尊敬語2（一般的な形）
72		確認テスト
73～76	謙譲語	謙譲語1（特定のことば）
77～78		謙譲語2（一般的な形）
79		確認テスト
80～83	丁寧語・美化語	丁寧語・美化語
84		確認テスト
85～87	敬語実践編	機能別敬語の使い方
88～90		場面別敬語の使い方

2024 シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　　専門科目

学科・コース名	エアポートサービス科　　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次　　集中
授業科目名	空港サービス入門			担当教員名	村山　一成　・　エアポートサービス科全常勤教員		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	1. エアポートサービス科で受講する講義概要(スケジュール・内容）について、各担当教官別に入門編として説明を行う。 2. エアポートサービス科で取得を目指す各資格の概要と必要となる知識等について、説明を行う。 3. 航空会社の実務業務並びに今後の講義の基礎となる航空業務の基礎知識(空港3レター・航空会社2レター・航空基礎用語等）を習得する。						
到達目標 （150文字程度）	2年制であるエアポートサービス科の授業カリキュラム全体の構成と各受講科目の位置づけを理解するとともに、就職先企業に必要となる航空専門知識・技量を身につけることの重要性を理解する。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	知識確認テスト				
			100%				
教員実務経験	エアラインでの実務業務経験						
学生へのメッセージ （150文字程度）	航空系企業への入社に向けて必要となる航空専門知識を身につけることが、就職の成果に直結するとの意識を持ち、就職先企業の入社(早期研修開始)までに最短で1年半との短期間となる実情をふまえ、集中した取り組みを期待します。						
教科書	書名			書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容	
1	ガイダンス・学科概要	A科全体概要説明・エアポートサービス科担当教員紹介	田中希
2	各コース概要	CA・GSコース全体概要	
3		GHコース全体概要	田中陽
4	履修授業概要	各教員担当科目説明	田中希
5		各教員担当科目説明	
6		各教員担当科目説明	田中陽
7		各教員担当科目説明	森
8		各教員担当科目説明	村山
9		各教員担当科目説明	小川
10	実習場紹介	モックアップ教室、グランドハンドリング実習場紹介	村山
11	航空業務の基礎知識	空港コード(国内)	
12		空港コード(国際)	
13		航空会社コード	
14		航空基礎用語	
15	まとめ	知識確認テスト	

2024 シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　　専門科目

学科・コース名	エアポートサービス科　　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次　　集中
授業科目名	インターンシップ教育(基礎)			担当教員名	田中　希代子　・　（委託先企業）		
授業形態	実習	授業時数	180	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	1．委託先企業の訓練カリキュラムに沿い、空港におけるグランドスタッフ（旅客）関連の業務知識を取得する。 2．空港スタッフとして求められる航空専門知識の取得と関連するランプ・カーゴ・オペレーション業務との関わりと業務連携の重要性を理解する。						
到達目標 （150文字程度）	実際に勤務する空港の現場に立ち、空港業務のインターンシップを通じて、航空会社のカウンター・ゲート等、旅客業務の最前線でお客様との接客経験を積むとともに、お客様の様々なご要望を適切に理解したうえで柔軟に対応する能力を高めるなど、コミュニケーション能力の向上を図る。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	企業実習評価	勤務状況			
			80%	20%			
教員実務経験							
学生へのメッセージ （150文字程度）	企業でのインターンシップ経験は、来たるべき就職活動に向け、自らの就職先企業の選定への重要な基礎となることを認識し、しっかりとした目的意識を持ってインターンシップに取り組んで頂きたい。						
教科書	書名			書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容
1～90	基礎座学・OJT	航空会社実務業務の基礎知識の取得とランプ・カーゴ・オペレーション等空港関連部門の見学

2024 シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　　専門科目

学科・コース名	エアポートサービス科　　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次　前期
授業科目名	空港業務知識Ⅰ			担当教員名	森 久見子 ・ エアポートサービス科全常勤教員		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	1．航空会社の業務の全体像を理解し、航空会社の各職種(主にキャビンアテンダント・グランドスタッフ・グランドハンドリング)に関する基礎的な業務知識を学ぶ。 2．航空業界で働くスタッフとして、航空関連基礎知識や航空保安について、航空機利用の流れ、国内各空港の特色や地域特性を学ぶ。						
到達目標 （150文字程度）	航空機の運航に携わる様々な職種と業務内容を学ぶ。職種間、部署間のチームワークの重要性を理解する。航空関連の基礎知識を身に付ける。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	受業ワーク				
	50%		50%				
教員実務経験	エアラインの業務全般の実務経験						
学生へのメッセージ （150文字程度）	航空専門学校生として、飛行機の利用方法や、国内の空港就航都市の観光地、名産品など様々な地域について学びましょう。 航空業界に従事するスタッフを目指す者として、目指す職種のみにとどまらず幅広い職種へ関心を持ち、また、航空保安などの基礎知識を身に付けましょう。						
教科書	書名	エアラインオペレーション入門		書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容
1	航空機の利用	ガイダンス、飛行機利用の流れ、航空券の予約
2	職種別理解	グランドスタッフ業務概要
3		グランドハンドリング業務概要
4		キャビンアテンダント業務概要
5	空港施設	空港の様々な施設を知る、CIQとは
6	航空保安	不法妨害行為、航空機事故を起こさないために、保安検査、クリーンエリア、ダーティーエリア
7	国内エアライン	国内エアラインの拠点、ハブ空港
8	アライアンス	世界の三大アライアンス、FFPの理解
9	運航を支える業務	空港ハンドリング会社の業務（貨物、オペレーション）
10	国内空港、各地域特色の理解	国内各地域の空港、特色を学ぶ
11		
12		
13	GH業務理解	グランドハンドリング企業講話
14	航空貨物	航空貨物企業講話
15	まとめ	本講義振り返り、総括

2024 シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　　専門科目

学科・コース名	エアポートサービス科　　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次	通年
授業科目名	エアポートサービスⅠ			担当教員名	森 久見子			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修	
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	空港サービスにおける基本スキーム（空港の基本構造・グランドスタッフの具体的業務内容）を理解する。基本用語・略号は繰り返し確認テストを行うことで身に付ける。							
到達目標 （150文字程度）	空港の基本構造・グランドスタッフの具体的業務内容を理解する。 空港サービスに大切な基本的知識や考え方を身に付ける。							
評価方法	定期試験		その他の評価方法					
	筆記試験	レポート	授業ワーク					
	70%		30%					
教員実務経験	エアライングループ会社でのグランドスタッフ実務経験							
学生へのメッセージ （150文字程度）	空港サービスに必要な知識の基本を理解し、身につけましょう。							

教科書	書名	エアラインオペレーション入門	書名	
	書名		書名	
参考書	書名	ANAグランドスタッフ入門	書名	
	書名	JALグランドスタッフ入門	書名	

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容	
1	ガイダンス	ガイダンス、フォネティックコード	
2	運送約款	運送約款の理解、記載内容の確認	
3	グランドスタッフの業務	予約（運賃、支払い手段）、チェックイン（座席特性）、空港使用料、マルチエアポート	
4		チェックインシミュレーション①	
5		ゲート業務、到着	
6	航空券、eチケット	航空券、eチケット、搭乗券の違い	
7	接続	最小接続時間、インバウンド、アウトバウンド	
8	国内線手荷物、危険物取扱い	国内線の手荷物（受託手荷物、超過料金）	
9		Dangerous Goodsの分類とグランドスタッフの役割	
10		国内線の手荷物（機内持込手荷物）	
11	カウンター対応	チェックインシミュレーション②	
12	共同運航便、FFP	コードシェア、Frequent Flyer Programに関わる情報、上級会員へのサービス	
13	配慮を要するお客様	配慮を要するお客様への手続き、ご案内	
14	カウンター対応	チェックインシミュレーション③	
15	イレギュラー対応	フライトイレギュラーの種類と発生原因	
16		フライトイレギュラーの対応、様々なイレギュラー	
17	Weight & Balance	航空機の安全にかかわる重さとバランス	
18	カウンター対応	チェックインシミュレーション④	
19	インターンシップ	インターンシップ概要、企業概要説明	
20	振り返り①	中間振り返り	
21	1、2年生合同授業	航空業界について2年生によるプレゼンテーション	
22			
23	CIQ、渡航書類	CIQとの役割	普通救命講習e－learning
24		CIQとのグランドスタッフの関わり	普通救命講習e－learning
25		パスポート、VISA	普通救命講習e－learning
26	国際線手荷物	国際線の手荷物（受託、機内持ち込みについて）	普通救命講習e－learning
27	時差とサマータイム	世界標準時とは。時差計算、時刻表からフライトタイムを計算	普通救命講習e－learning
28	航空会社のサービス	機内サービス、機内食、航空会社のサービス	普通救命講習e－learning
29	緊急時の対応	空港内で発生しやすい事故事例と対応、普通救命講習	
30	振り返り②	最終振り返り	

2023 シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　　専門科目

学科・コース名	エアポートサービス科　　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次　　後期
授業科目名	接遇・ホスピタリティⅠ－CA			担当教員名	田中　希代子		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	客室乗務員の業務理解を深め、①保安要員②接遇要員③マーケティング要員としての基礎力を身につける。						
到達目標 （150文字程度）	安全を最優先を理解し、快適な接遇をお客様に提供できる力を身につける。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
		50%	50%				
教員実務経験	エアライン採用面接担当、国内線・国際線客室乗務員経験						
学生へのメッセージ （150文字程度）	エアラインの顔としてお客様により良い印象を提供できる接遇力を身につけましょう。プロフェッショナルな接遇力は客室乗務員職だけでなく、すべての接客業に役立ちます。						
教科書	書名	マナー&プロトコールの基礎知識		書名			
	書名	エアラインオペレーション入門		書名			
参考書	書名	AIR STAGE		書名			
	書名			書名			

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容
1	導入	客室乗務員の役割
2	第一印象	快適性の提供（機内アナウンス①）搭乗御礼・立ち居振る舞い
3	保安要員としての役割	保安要員①（機内アナウンス）安全情報　安全性チェック
4		保安要員②（機内アナウンス）安全情報　デモンストレーション
5	サービス要員としての役割	サービス要員①（ドリンクサービス）
6		サービス要員②（ミールサービス）
7	プロフェッショナルスキル	接遇者としての言葉遣い①
8		接遇者としての言葉遣い②
9		クレーム対応①
10		クレーム対応②
11		スポットカンバセーション①
12		スポットカンバセーション②
13	緊急対応	緊急着陸・着水・急減圧
14	総合演習	搭乗案内～降機まで①
15		搭乗案内～降機まで②

2024 シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　　専門科目

学科・コース名	エアポートサービス科　　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次　　後期
授業科目名	接遇・ホスピタリティⅠ-GS			担当教員名	森　久見子		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	高品質な接客・接遇を体現するにあたり、身だしなみやコミュニケーション能力などエアラインの業務全般に求められる接客・接遇の基礎を学び、空港の様々なシーン（カウンター・ゲート・ロビー・機内）を想定し、学内モックアップで実践的な接客・接遇の基礎的技能を学ぶ。						
到達目標 （150文字程度）	空港における様々なシーンのフロントラインで、見て感じよく、受けて気持ちが良く、かつ機転、機敏、気配りのきいた対応が何かを理解する。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
		50%	50%				
教員実務経験	エアライングループ会社でのグランドスタッフ実務経験						
学生へのメッセージ （150文字程度）	接遇者として相手に心地の良い礼儀作法、良識、言葉遣い、傾聴等を積極的に身につけましょう。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名	ゼロから教えて接客・接遇	書名				
	書名		書名				

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容
1	お客様心理	お客様満足（CS）について
2		お客様心理について考える
3	基本対応	チェックイン基本対応シミュレーション
4	お手伝いの必要なお客様対応	車椅子をご利用のお客様のチェックイン
5		車椅子をご利用のお客様のご案内
6		視覚障がいのお客様対応
7		聴覚障がいのお客様対応
8		お子様一人旅のお客様対応
9		妊娠中のお客様対応
10	様々な対応	易損品・破損手荷物の対応、プレミアムカスタマー対応
11		超過料金のご案内
12	ロビーサービス	ロビーサービスの重要性
13	アナウンス	空港アナウンス
14	振り返り、まとめ	カウンター対応総復習
15		カウンター対応総復習

2024 シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　　専門科目

学科・コース名	エアポートサービス科　　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次　　前期
授業科目名	サービス介助			担当教員名	森 久見子		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 （目的・テーマ等） （150文字程度）	サービス介助士資格取得講座での資格取得に向けて、事前学習と「おもてなしの心」と「安全な介助技術」基礎を学ぶ。 空港や機内といった特殊な空間におけるおもてなしの心と介助技術を学ぶ。						
到達目標 （150文字程度）	高齢者が寝たきりにならず障がい者が引きこもることもなく、自由に街の中に出て地域活性化の力になっていただけるよう介助技術を見につけ、おもてなしの心と介助の心得、技術を習得し、サービス介助士の資格を取得する。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	授業ワーク				
	70%		30%				
教員実務経験	空港でのグランドスタッフ実務経験あり						
学生へのメッセージ （150文字程度）	サービス介助士は、高齢な方やお身体の不自由な方が、安心して社会参加できる環境を整えるために、お迎えする側が「おもてなしの心」と「安全な介助技術」を学ぶ資格です。 現在ではサービス業を中心に多くの企業においてニーズの高い資格になっており、資格を持つことは就職活動においても強みとなり得ます。						
教科書	書名	資格取得講座テキスト　サービス介助士・準サービス介助士		書名			
	書名			書名			
参考書	書名	なし		書名			
	書名			書名			

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容
1	サービス介助士資格取得に向けて	ガイダンス（サービス介助士資格概要、申込みについて）・第1章　共生社会へ向けて
2		第2章　サービス介助士の接遇　・　第3章　障害のとらえ方
3		第4章　高齢社会の理解
4		第5章　高齢者への理解と接遇
5		第5章　高齢者への理解と接遇
6		第6章　障害者への理解と接遇・車椅子操作演習
7		第6章　障害者への理解と接遇
8		第6章　障害者への理解と接遇
9		第6章　障害者への理解と接遇
10		第7章　障害者の自立支援
11		第8章　円滑なコミュニケーションについて　・　第9章　関連法規及び制度
12		資格取得に向けた事前課題演習
13	障害のある方への介助	車椅子操作演習
14		視覚障害者の手引き
15		聴覚障害者の手引き

2024 シラバス（科目概要・授業計画）

科 目 区 分　　専門科目

学科・コース名	エアポートサービス科　　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次　　集中
授業科目名	インターンシップ教育（応用）			担当教員名	田中　希代子　・（委託先企業）		
授業形態	実習	授業時数	180	単位数	4	選択必修区分	選択
授業概要（目的・テーマ等）（150文字程度）	1．委託先企業の訓練カリキュラムに沿い、空港におけるグランドスタッフ（旅客）関連の業務知識を取得する。 2．空港スタッフとして求められる航空専門知識の取得と関連するランプ・カーゴ・オペレーション業務との関わりと業務連携の重要性を理解する。						
到達目標（150文字程度）	実際に勤務する空港の現場に立ち、空港業務のインターンシップを通じて、航空会社のカウンター・ゲート等、旅客業務の最前線でお客様との接客経験を積むとともに、お客様の様々なご要望を適切に理解したうえで柔軟に対応する能力を高めるなど、コミュニケーション能力の向上を図る。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
			企業実習評価	勤務状況			
			80%	20%			
教員実務経験	---						
学生へのメッセージ（150文字程度）	企業でのインターンシップ経験は、来たるべき就職活動に向け、自らの就職先企業の選定への重要な基礎となることを認識し、しっかりとした目的意識を持ってインターンシップに取り組んで頂きたい。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容
1～90	ライン業務経験・実習	派遣先空港におけるライン業務経験と実務実習

2024 シラバス（科目概要・授業計画）案

科 目 区 分　　専門科目

学科・コース名	エアポートサービス科　　キャビンアテンダント・グランドスタッフコース					開講時期	1年次　　集中
授業科目名	キャビンアテンダント・グランドスタッフ接遇力（応用）			担当教員名	田中希代子・森　久見子・岡本順子・GH教員		
授業形態	講義	授業時数	180	単位数	12	選択必修区分	選択
授業概要（目的・テーマ等）（150文字程度）	就職活動を進めるにあたり、幅広い業界と職種において活躍できる人財育成を目指すプログラムです。就職に優位な各種資格の取得対策およびより深い表現力・接遇力・専門知識を習得します。						
到達目標（150文字程度）	キャビンアテンダント・グランドスタッフをはじめとする接遇力を活かした就業に向け、職種理解と専門知識を深め、幅広い領域で活躍できる力を身につけ、志望職種への内定に繋げます。						
評価方法	定期試験	その他の評価方法					
	レポート	取組み姿勢					
	30%	70%					
教員実務経験	国際線・国内線客室乗務員および航空会社での安全品質管理部署経験 空港旅客業務経験 外資系ホテル及び法人研修コンサルティング会社における実務経験						
学生へのメッセージ（150文字程度）	接遇に関わる職種理解を深め、自分の適性を伸ばし、夢を実現しましょう。						

教科書	書名	エアラインオペレーション入門	書名	マナープロトコールの基礎知識
	書名	ゼロから教えて　接客・接遇	書名	Hospitality English
参考書	書名	AIR STAGE	書名	ANAグランドスタッフ入門
	書名	JALグランドスタッフ入門	書名	

授 業 計 画　（各回ごとの項目と内容について）

回=90分	項目	内容	
1	ホスピタリティセオリー	講義概要、就学目的説明、ホスピタリティとは・自身の社会的スキル尺度を知る	田中（希）
2		マーケティング（サービスとリレーションシップ）・サービスリカバリー	
3		顧客満足①	
4		顧客満足②	
5	セルフプロデュース	自己のパーソナリティを知る	
6		自己分析①（強みの発見・強化に向けて）	
7		自己分析②（弱みの発見・強化に向けて）	
8		自己表現①	
9		自己表現②	
10		自己表現③	
11		自己表現④	
12		自己表現⑤	
13		自己表現⑥	
14		自己表現⑦	
15		自己表現⑧	
16		自己表現⑨	
17	ユニバーサルサービス	ダイバーシティ&インクルージョン、ジェンダー	森
18		ジェンダーの多様性	
19		マイノリティについて考える	
20		ユニバーサルサービス	
21		身体障がい者へのサービス①	
22		身体障がい者へのサービス②	
23		高齢者へのサービス	
24		グローバルカスタマー	
25		アンコンシャス・バイアス	
26	接遇力が活かされる職種	接遇力を求められる様々な職業	岡本
27		ホテルでの接遇①(座学)	
28		ホテルでの接遇②(座学)	
29		ホテルでの接遇③(座学)	
30		ホテルでの接遇④(座学)	
31		ホテルでの接遇①(実習)	外部講師
32		ホテルでの接遇②(実習)	
33		ホテルでの接遇③(実習)	田中（希）
34		ホテルでの接遇④(実習)	

回=90分	項目	内容	
35	空港地上業務	グランドハンドリング講話	グランドハンドリング教員
36		グランドハンドリング体験	
37		貨物ハンドリング・貨物事務業務①	
38		貨物ハンドリング・貨物事務業務②	
39		空港地上支援業務①	
40		空港地上支援業務②	
41	コンピューター入門	ブラインドタッチ①	森
42		ブラインドタッチ②	
43	救急看護	基礎知識	田中(希)
44		初期対応	岐阜医療大学
45		疾病について	
46	防災・消火活動	消火実習	田中(希)
47		防災知識	
48	気象	気象について①	小川
49		気象について②	
50	航空安全	航空機の安全について①	大村
51		航空機の安全について②	
52		航空機の安全について③	
53		航空機の安全について④	
54		安全推進活動①	
55		安全推進活動②	
56	接遇英語入門	接遇者の英語①	田中(希)
57		接遇者の英語②	
58		Hospitality English①	
59		Hospitality English②	
60		Hospitality English③	
61		Hospitality English④	
62		Hospitality English⑤	
63		Hospitality English⑥	
64		Hospitality English⑦	
65		Hospitality English⑧	
66	マナープロトコール検定対策	第1章マナーの歴史と意味	森
67		第2章国際人としてのプロトコール	
68		第3章社会人に必要なマナー	
69		第4章ビジネスシーンのマナー	
70		第5章食事のマナー	
71		第6章お酒のマナー	
72		検定対策①	
73		検定対策②	
74		検定対策③	
75		検定対策④	
76	観光英検3級	観光英検対策①	田中(希)
77		観光英検対策②	
78		観光英検対策③	
79		観光英検対策④	
80		観光英検対策⑤	
81		観光英検対策⑥	
82		観光英検対策⑦	
83		観光英検対策⑧	
84		観光英検対策⑨	
85		観光英検対策⑩	
86		観光英検対策⑪	
87		観光英検対策⑫	
88	SDG's	SDG's(持続可能な開発目標とは)	田中(希)
89		SDG's(推進企業研究)	
90		レポート作成	